

					発注番号		145		
令和7年度 道路区画線設置工事 実施設計書				課長		補佐		係長	
				設計		検算			
工事番号	債交安整 第 2 号	工事日数	150 日間	令和 年 月 日 着手 令和 年 月 日 竣工					
実施 設計額	一 金 円 也 (内 消費税及び地方消費税額 円)		施工地名						
変更 設計額	一 金 円 也 (内 消費税及び地方消費税額 円)		路線名	別紙区画線設置延長一覧のとおり					
実施 請負額	一 金 円 也 (内 消費税及び地方消費税額 円)		施工箇所						
変更 請負額	一 金 円 也 (内 消費税及び地方消費税額 円)		妙高市 妙高高原地域 地内						
実施 工事概要	区画線設置  外側線・中央線（実線 W=15cm） L=11, 330m 中央線（破線 W=15cm） L=6, 450m 矢印（W=15cm換算） L=57m		変更 工事概要						

## 起 工 理 由 書

交通事故防止と交通の円滑化を図るため、本工事を行う。

## 工 事 方 法

本工事は、別紙「特記仕様書」により施工する。

## 備 考

## 【 工事等請負契約にあたっての留意事項 】

R 7. 4. 1 改訂

1. 契約保証金の納付について（財務規則第145条）  
1000万円以上の請負契約書を締結するときは、契約保証金の納付が必要です。  
ただし、同条第3項の担保の提供をもって代えることができます。
2. 前金払の支払いについて（財務規則約款第35条）  
請負金額が50万円以上の工事で、保証事業会社と保証契約を締結したときは前金払の支払いを請求することができます。
3. 施工体系図等の作成と掲示について（入札契約適正化法関連）  
工事請負等（委託を含む）にあたっては、妙高市の入札案件すべてについて下請契約を締結した場合、施工体系図を作成し施工計画とあわせて監督員に提出してください。  
また、建設業法第24条の7第4項に規定する施工体系図については、工事現場の「工事関係者及び公衆が見やすい場所」に掲示しなければなりません。
4. 施工体制等確認について  
契約金額が600万円以上の工事は「施工体制等確認要領」に基づき、工事現場等における施工体制等を確認しますので、監督員が関係書類の提出を求めた場合は、その指示に従ってください。
5. 請負工事成績評定について  
請負金額が500万円以上の工事は「妙高市請負工事成績評定実施要綱」に基づき、工事成績を評定します。
6. 工事における創意工夫等実施状況の提出について（工事成績評定要領第4条第7項）  
受注者は、工事の施工において、自ら立案した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式（要領別紙6・別紙6の2）により提出することができます。
7. 工事等事故報告について  
万一事故が発生した場合は、「工事等事故報告要領」に基づき、速やかに速報してください。  
また、報告を要する事故の場合は、所定の様式に従い、速やかに報告してください。
8. 建設業退職金共済制度に関する事務取扱について  
請負金額が200万円以上の工事は「建設業退職金共済制度に関する事務取扱要領」に基づき、「建設業退職金共済証紙購入状況報告書」あるいは「建設業退職金共済証紙（無購入・購入遅延）理由書」を所管課へ提出してください。

債交安整第2号 道路区画線設置工事

# 特 記 仕 様 書

**【適用範囲】**

本工事の施工にあたって受注者は、契約書に基づき、設計図書に従って施工するものとする。また、設計図書のうち仕様書については、本「特記仕様書」及び「新潟県土木工事標準仕様書」を適用するものとする。

CORINSへの登録については、「新潟県土木工事標準仕様書」のとおりとする。

## 工 事 仕 様 総 括

本工事は、「新潟県土木工事標準仕様書」及び添付の「特記仕様書」により施工すること。

## 施 工 条 件 総 括

下記項目、事項のうち○印欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。

なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、甲（市）と協議し、適切な措置を講ずるものとする。

明 示 項 目	施 工 条 件
Ⅰ 工 程 関 係	1 関連する別途発注工事あり
	② 施工時期、時間、方法の制限あり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時 期：安全な通行を早期に確保するため、令和8年5月末までに現場施工を完了させること。                          なお、降積雪等のやむを得ない理由により、令和8年5月末までに現場施工の完了が困難な場合は、監督員と協議すること。</li> <li>・ 時 間：</li> <li>・ 方 法：</li> </ul>
	3 関係機関協議による工程条件あり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協 議 内 容：</li> <li>・ 完了予定時期：</li> </ul>
	④ その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元関係者と協議を行い決定すること。</li> </ul>
Ⅱ 用 地 関 係	1 工事用地等の未処理部分あり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 処理見込時期：</li> <li>・ 区 間：</li> </ul>
	2 仮設ヤードの指定あり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 場 所：</li> <li>・ 期 間：</li> </ul>
	3 その他
Ⅲ 公 害 対 策 関 係	① 公害防止の制限あり（騒音・振動、 <u>排出ガス</u> 、粉じん、水質等） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施工方法：</li> <li>・ 作業時間：</li> </ul>
	2 家屋等の調査の必要性あり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 方 法：</li> <li>・ 範 囲：</li> </ul>
	3 その他
Ⅳ 安 全 対 策 関 係	① 交通安全施設等の指定あり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交 通 誘 導 員：片側交互通行規制                          2人/箇所 交通整理必要日数 6.5日間（2人×6.5日間=13.0人・日）</li> <li>・ その他施設等：</li> </ul>
	2 近接作業制限あり（鉄道、ガス、水道、電気、電話等） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内 容：</li> <li>・ 工 法 制 限：</li> <li>・ 作業時間制限：</li> </ul>
	3 発破作業あり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保安設備及び保安要員：</li> <li>・ 防 護 工：</li> <li>・ 作業時間制限：</li> </ul>
	4 防護施設（落石、雪崩、土砂崩落等） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内 容：</li> </ul>
	⑤ その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事区間については、片側交互通行規制での施工を計画している。</li> <li>・ 交通誘導員については、警察等関係機関との協議により交通処理方法等の変更が生じた場合や現地の状況により、これによりがたい場合は、監督員と協議すること。</li> <li>・ 施工時の安全管理の徹底と作業員の安全を十分確保し、施工すること。</li> </ul>

明 示 項 目	施 工 条 件
Ⅴ 工事用道路 関 係	1 一般道路を搬入路としての使用制限あり ・ 搬 入 経 路 : ・ 期 間 : ・ 使用後の処置 :
	2 一般道路の占有 ・ 期 間 : ・ 規 制 条 件 : ・ 時 間 制 限 :
	3 仮設道路設置 ・ 工法指定の有無 : ・ 用 地 関 係 : ・ 安 全 施 設 : ・ 工事完了後の「存置」または「撤去」 :
	4 その他
Ⅵ 仮設備関係	1 仮設備の指定あり
	2 仮設備の条件指定あり
	3 仮設構造物の転用, 兼用あり ・ 工 種 : ・ 内 容 :
	4 イメージアップあり ・ 内 容 :
	5 その他
Ⅶ 残土・産業 棄 物 関 係	別紙「建設副産物特記仕様書」のとおり
Ⅷ 工事支障 物 件 等	1 占用支障物件あり（電気、電話、水道、ガス等） ・ 内 容 : ・ 移設、撤去、防護方法等 : ・ 時 期 :
	2 占用物件重複施工あり ・ 内 容 :
	3 その他
Ⅸ 排 水 工 (濁水処理む)	1 濁水、湧水処理等の特別な対策あり ・ 内 容 :
X 薬 液 注 入 関 係	1 薬液注入工法あり ・ 別紙条件明示による
⑧Ⅰ そ の 他	1 現場発生材あり ・ 品 名 : ・ 納入場所 :
	2 支給品及び貸与品あり ・ 品 名 : ・ 引渡場所 :
	3 品質証明の必要あり ・ 標準仕様書第1編(章) 1-1-24による
	④ そ の 他 ・ 現場着手前に起工測量を行い、その結果を工事打合せ簿に図面や計算書などの関係書類を添付して監督員に提出し、指示を受けてから着手すること。（設計変更該当するものは、指示内容のとおり変更する。指示以外の項目は変更の対象としない。） ・ 施工計画において、第三者に対する安全対策を計画し、承認を受けること。

明 示 項 目	施 工 条 件
XⅡ 排 出 ガ ス 対 策 型 建 設 機 械	<ul style="list-style-type: none"> <li>排出ガス対策型建設機械（第2次基準及び第3次基準）を標準としている施工においては、これを積極的に使用し普及促進に努めること。</li> </ul>
XⅢ 材料指定 関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料名・材料規格については、参考資料で指定している。なお、参考資料に仮設工がある場合における数量・材料名・材料規格は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考であるので、指定とはならない。</li> </ul>
XⅣ 施工方法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工条件総括表、図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書に特別に定める場合を除き、仮設、施工方法その他工事目的物を完成するために必要な手段は、請負者の責任において定める。（建設工事請負基準約款1条第3項による）</li> </ul>
工 事	<p>1. 生コンクリート</p> <p>① 高炉セメント（B種）を使用した生コンクリートを使用すること。</p> <p>② 生コンクリートの規格は、設計図面に明示してある規格のほか下記の水セメント比を満たすこととする。</p> <p style="text-align: center;">均しコンクリート-----W／C    ≤ 65%</p> <p style="text-align: center;">無筋コンクリート-----W／C    ≤ 60%</p> <p style="text-align: center;">鉄筋コンクリート-----W／C    ≤ 55%</p>

## 中間技術検査関係

項 目	条 件	備 考
中間技術検査の対象	該 当 あ り ・ な し	

上記事項に該当ありの工事については、中間技術検査を次のとおり実施する。

項 目	条 件 等
1 実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工程の概ね 50% を予定している。</li> <li>・ 主要工種（ ）の1/3～1/2程度の完成時を予定している。</li> <li>・ 重要構造物（ ）の隠ぺい時前を予定している。</li> <li>・ その他（ ）</li> </ul>
2 実施回数	
3 検査書類等	
4 その他	

※請負金額が1,000万円以上の工事は、既成部分検査と兼ねることができる。



## 妙高市「週休2日適用工事（現場閉所）」（令和7年4月）

### 特記仕様書

本工事は、受注者が工事着手前に発注者に対して月単位の週休2日（現場閉所）に取り組む旨を協議した上で工事を実施する『妙高市「週休2日適用工事（現場閉所）」』受注者希望方式の対象案件である。なお、通期の週休2日（現場閉所）について、受注者は協議にかかわらず取り組むものとする。

通期の4週8休以上（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態）を前提に、補正対象経費に通期の週休2日補正係数を乗じて予定価格を作成している。

受注者は、『妙高市「週休2日適用工事(現場閉所)」（令和7年4月）【土木等工事】実施要領』に基づき、月単位の週休2日（現場閉所）の取組の希望の有無を工事着手前に、監督員と打合せ簿により協議するものとする。

現場閉所の達成状況より、月単位を希望して月単位の4週8休以上を達成した場合は、月単位の週休2日補正係数に設計変更する。月単位を希望して月単位の4週8休に満たない場合、月単位を希望せずに月単位の4週8休以上を達成した場合は、通期の週休2日補正係数のままとする。通期の4週8休に満たない場合は、補正分を減額変更するものとする。

実施要領等のデータは、妙高市ホームページから入手できる。

「週休2日適用工事」の補正対象となる「労務費・機械賃料単価コード」び「積算システムの計算機能で週休2日補正係数が自動的に乗じられる単価コード」は、新潟県ホームページを参照すること。

(<https://www.pref.niigata.lg.jp/gijutsu/1356857978573.html>)

## 概算数量発注方式特記仕様書

本工事の施工にあたっては、妙高市概算数量発注方式試行要領によるほか、本特記仕様書に基づき実施するものとする。

- 1 本工事は、概算数量発注方式により発注する工事である。
- 2 予定価格は、概算数量により積算したものである。
- 3 工事計画図書の作成は、受注者が行うものとする。なお、原則として、工事計画図書の作成に必要な調査及び測量等の費用は、通常行う設計図書の照査及び起工測量の範囲内であるため、原則計上しないものとする。
- 4 受注者は、工事施工前に工事計画図書を協議書（工事打合簿）により監督員に提出のうえ、承諾を得るものとし、指示書（工事打合簿）により工事を施工するものとする。
- 5 発注者は、工事計画図書に基づき設計数量を確定し、設計変更を行うものとする。

## 設計図書における利用コード一覧表

設計図書における本工事費内訳表および施工内訳表などに記載のあるデータコードは下記のとおりとなっています。

※データコード中の“x”は任意の半角英数字（xの数も任意），“n”は任意の半角数値です。

### 1 単価コード

・単価コードにおいて新潟県土木工事等基礎（公表）単価表に掲載のある単価については、コードが対応しています。（その他以外）

労務単価	Rxxxxxxxxx	RRxxxxxxxx	TRxxxxxxxx					
資材単価	TZxxxxxxxx	Txxxxxxxxx	TTxxxxxxxx	TVxxxxxxxx	TRxxxxxxxx	TMNxxxxxxxx	TNxxxxxxxx	TZPxxxxxxxx
機械・仮設材の賃料・損料	TLxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx	KExxxxxxxx	TMxxxxxxxx	TZUxxxxxxxx	Mxxxxxxxxx	MMxxxxxxxx	
市場単価	TAxxxxxxxx	TBxxxxxxxx	TCxxxxxxxx	TDxxxxxxxx	TGxxxxxxxx	TQxxxxxxxx		
その他	T9999001～T9999099 ※		Fxxxxxxxxx	Wxxxxxxxxx ※	TFJAxxxxxx ※	TYxxxxxxxx ※		
東京単価	RR9xxxxxxxx	TZ09xxxxxxxx	TZP9xxxxxxxx	TL09xxxxxxxx	MM09xxxxxxxx	TQ09xxxxxxxx		

その他のものは単価等を個別に設定しており、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表から単価を引用している場合もあります。

※は同一コードでも異なる単価が入力されている場合があります。詳細は入札資料を参照してください。

### 2 施工コード

①下表のコードは各積算基準の施工コード一覧表と対応しています。※

積算基準〔1 県版〕	Sxxxxxxxxx	SCBSxxxxxxxx
積算基準〔2 調査関係〕	SAxxxxxxxx	SBxxxxxxxx
	SCxxxxxxxx	SDxxxxxxxx
積算基準〔3 港湾〕	SDHxxxxxxxx	SExxxxxxxx
	SSHxxxxxxxx	
積算基準〔4 下水道〕	SWGxxxxxxxx	

②下表のコードは積算基準での表記と異なります。※

積算基準名	設計図書コード	積算基準の表記
積算基準〔1 一般土木〕全国版	SWBxxxxxxxx	WBxxxxxxxx
	SCBxxxxxxxx	CBxxxxxxxx
積算基準〔4 公園緑地〕	SWCxxxxxxxx	WCxxxxxxxx
積算基準〔6 機械・電気通信〕	SWExxxxxxxx	WExxxxxxxx
積算基準〔5 建設機械損料表〕	MMJxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx

※①・②記載のパッケージコードについて修正している場合があります。詳細については、6 パッケージコードの修正についてを参照してください。

③下表のコードは個別の案件で設定

名称、単価、単位等を設定	S0900 ※	S0901 ※	SE918 ※	
名称、労務数量等を設定	SA901 ※	SA902 ※	SA910 ※	SC900 ※
全ての歩掛を独自設定	Vxxxxxxxxx			

※同一コードでも異なる歩掛を設定している場合もあります。

### 3 機械運転単価コード

各施工歩掛内で使用しています。内訳については帳票の量が多くなるため出力していませんので、積算基準を確認してください。

積算基準の機械運転単価表に記載のある「機－〇〇」は、積算基準〔1 一般土木〕県版に適用単価表が記載されています。

SWKxxxxxxxx	積算基準において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SWMxxxxxxxx	積算基準〔4 下水道〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SKxxxxxxxx	運転労務数量、燃料消費量を積算基準〔5 建設機械損料〕により決定します。ただし、条件を個別設定する場合もあります。
SDHTxxxxxx (SZxxxx)	積算基準〔3 港湾〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。

### 4 その他コード

#0n	所定の率で雑材料の経費を計上しています。
#7n	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように所定の率以内で諸雑費計上する処理を行っています。
#80	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように端数を計上する処理を行っています。
+00	施工コードにおいて歩掛全体を割増す場合に用いるコードです。
Xn000	工事の場合は本工事、附帯工事、補償工事などの費目コード、委託の場合は測量、調査、設計などの業務コードです。nは1～4。
Ynxxxxxxxx	新土木工事積算体系における工事工種のコードです。nは1～4工種レベル、zの場合は共通仮設工種。
Zxxxx	共通仮設費、現場管理費、一般管理費のコードです。
管理費区分	「0 省略」は設定無し、「1 桁等購入費」、「5 鋼橋門扉等工場原価」、「T 処分費」等は積算基準〔1 一般土木〕県版を参照してください。「N 直接人件費」、「N1 直接人件費(電子対象外)」については、7 業務委託の管理費区分を参照してください。

5 単価入力データ一覧表について

以下の①～⑤単価コードについては単価入力データ一覧表に関連情報※が記載されています。  
同一コードでも異なる単価が入力されている場合がありますので、詳細は入札資料を参照してください。

①本表1 単価コードのその他に記載されている単価コード。

②単価コードに単価値が設定されておらず、積算者が単価を逐次入力した単価コード。

③代表機労材規格および名称・規格の記載内容を修正（変更、追記）した単価コード。

④パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を減額処理した単価コード。

⑤パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を置換えした単価コード。

※関連情報とは、対象となる単価コードとその名称と単位、および、対象コードを使用している本工事費内訳表に記載のコード、名称、第番号です。

※パッケージコードとは施工コードのSCBxxxxxxxx, SCBSxxxxxxxx, SSHxxxxxxxxのことです。

6 パッケージコードの修正について

単価入力データ一覧表に記載されている単価コードを含むパッケージコードは修正となります。

修正した箇所には、施工内訳表の積算地区の代表機労材規格の項目（例：Z1t'）に「修正」と記載されます。

詳細については施工内訳表および単価入力データ一覧表を参照してください。

※本表5の①～③に該当する単価コードであっても、施工条件の入力により単価値、名称、規格が変更された代表機労材規格は対象外です。

※本表5の④の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「\*減額処理\*」と記載されます。

※本表5の⑤の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「\*単価置換\*」と記載されます。

7 業務委託の管理費区分

「N 直接人件費」は測量業務諸経費体系および設計業務諸経費体系での直接人件費を示します。詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。  
「N1 直接人件費(電子対象外)」は、電子成果品作成費を除く、全ての諸経費を対象とする費用です。

8 業務委託における電子成果品作成費の計上について

「総括情報表」記載の「電子成果品作成費計上」選択項目による、業務区分ごとの電子成果品作成費の計上方法は以下のとおりとなります。  
詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

↓選択項目 \ 業務区分→	測量業務委託	一般調査業務	設計業務委託
00設計業務に率計上しない	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	—
01詳細設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	概略設計, 予備設計又は詳細設計
02その他の設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	その他の設計業務
05率計上しない	—	—	—

9 パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日について

パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日については、単価適用日の「新潟県土木工事等基礎（公表）単価表」に記載の、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表について、2. 掲載内容を参照してください。

# ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 工事数量総括表

頁0-0006

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格 1 ・規格 2	単 位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊					
区画線工		式			
区画線設置		m		11,330	
区画線設置		m		6,450	
区画線設置		m		57	
仮設工		式			
交通誘導警備員B		人日		13	
直接工事費					
共通仮設費（率分）					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費（率分）					
現場管理費計					
工事原価					
工事原価計					
一般管理費等					
一般管理費等計					
工事価格					

＊ ＊本工事費＊ ＊ 工事数量総括表

頁0-0007

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

[illegible]



## 参 考 資 料

この「参考資料」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、建設工事請負基準約款第 1 条にいう設計図書ではない。

従って「参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

# 総括情報表

頁0-0008

設計書名 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日/適用基準日  諸経費体系	実施設計書  1 実施単価 82 上越⑨ 0-08. 01. 20 (0)  1 一般土木	
	当 世 代	前 世 代
工種区分 施工地域区分 現場環境改善費 前払率 契約保証に係る保証 消費税率 労務単価の補正率 週休2日補正の有無 ICT3D出来形・納品補正 小型車補正	13 道路維持工事 05 一般交通影響有(2)-1 00 なし 40 40% 03 保証なし 04 10% 21 0%:補正なし 14 通期(現場閉所)R6. 10 00 なし(R02. 10. 20～) 00 小型車補正なし	

07-実施-一般-1111-当初

# ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0009

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊						X1000
区画線工						Y1000000031
区画線設置 実線 W=15cm (外側線・中央線)			式			SWB821210
0 省略	11,330	m				施工 第0-0001号内訳表
区画線設置 破線 W=15cm (中央線)						SWB821210
0 省略	6,450	m				施工 第0-0002号内訳表
区画線設置 W=15cm換算 (矢印・記号・文字)						SWB821210
0 省略	57	m				施工 第0-0003号内訳表
仮設工						Y2000000000
交通誘導警備員B						SWB010212
0 省略	13	人日				施工 第0-0004号内訳表
直接工事費						
共通仮設費 (率分)						

# ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0010

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費（率分）						
現場管理費計						
工事原価						
工事原価計						
一般管理費等						
一般管理費等計						
工事価格						

# ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0011

費目・工種・施工名称・管理費区分		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
消費税相当額											
工事費											

区画線設置  
実線 W=15cm (外側線・中央線)

08年01月20日適用  
頁0-0012

SWB821210 施 工 内 訳 表

施工 第0-0001号内訳表  
1000 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
区画線設置(ペイント式)昼間 豪雪有実線15cm制約無	1,000.000	m			TQJ1037010 2 0 省略
トラフィックペイント 加熱型 溶剤型 2種B 白	70.000	l			TZJ4350005 1 0 省略
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	59.000	kg			TZJ4352001 1 0 省略
軽油	33.000	l			TZJ6702002 1 0 省略
諸雑費(率+まるめ)		%			#71 0 省略
計	1,000	m			
小計	1	m			
夜間作業の有無	=1	無し			
施工方法区分	=2	ペイント式溶剤型			
豪雪補正の有無	=2	有り			
規格・仕様区分	=1	実線 15cm			
時間的制約の有無	=1	無し			
未供用区間の場合の補正	=1	無し			
ペイント式塗料規格	=2	加熱			
塗料区分	=1	白			
費用の内訳	=1	全ての費用			

区画線設置  
破線 W=15cm (中央線)

08年01月20日適用  
頁0-0013

SWB821210 施 工 内 訳 表

施工 第0-0002号内訳表  
1000 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
区画線設置(ペイント式)昼間 豪雪有破線15cm制約無	1,000.000	m			TQJ1037013 2 0 省略
トラフィックペイント 加熱型 溶剤型 2種B 白	70.000	l			TZJ4350005 1 0 省略
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	59.000	kg			TZJ4352001 1 0 省略
軽油	40.000	l			TZJ6702002 1 0 省略
諸雑費(率+まるめ)		%			#71 0 省略
計	1,000	m			
小計	1	m			
夜間作業の有無	=1	無し			
施工方法区分	=2	ペイント式溶剤型			
豪雪補正の有無	=2	有り			
規格・仕様区分	=5	破線 15cm			
時間的制約の有無	=1	無し			
未供用区間の場合の補正	=1	無し			
ペイント式塗料規格	=2	加熱			
塗料区分	=1	白			
費用の内訳	=1	全ての費用			

区画線設置  
W=15cm換算（矢印・記号・文字）

08年01月20日適用  
頁0-0014

SWB821210 施 工 内 訳 表

施工 第0-0003号内訳表  
1000 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
区画線設置(溶融式)昼間 豪雪有矢印・記号・文字制約無	1,200.000	m			TQJ1036076 2 0 省略
トラフィックペイント 溶融型 3種1号 ビーズ 15~18 白	684.000	kg			TZJ4350001 1 0 省略
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	30.000	kg			TZJ4352001 1 0 省略
接着用プライマー 区画線用	30.000	kg			TZJ4354001 1 0 省略
軽油	120.000	l			TZJ6702002 1 0 省略
諸雑費(率+まるめ)		%			#71 0 省略
計	1,000	m			
小計	1	m			
夜間作業の有無	=1	無し			
施工方法区分	=1	溶融式手動			
豪雪補正の有無	=2	有り			
規格・仕様区分	=13	矢印・記号・文字 15cm換算			
時間的制約の有無	=1	無し			
塗布厚	=1	1.5mm			
排水性舗装に施工する場合の補正	=1	無し			
未供用区間の場合の補正	=1	無し			
溶融式塗料規格	=1	含有量15~18%			
塗料区分	=1	白			
プライマー規格	=1	アスファルト舗装			
費用の内訳	=1	全ての費用			



SWB010212 施 工 内 訳 表

施工 第0-0004号内訳表

1 人日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
交通誘導警備員B		人			RR0804 1
					0 省略
諸雑費(まるめ)	1.00	式			#80
					0 省略
小計	1	人日			

令和7年度 債交安整第2号 道路区画線設置工事（妙高高原地域）

区画線設置延長一覧

図面 番号	等級	路線番号	市道名	線種								
				外側			中央	中央	ゼブラ	矢印	矢印	矢印
				左	右	計	(実線)	(破線)	(W=45cm)	(直進+左折)	(直進)	(右折)
(1)	1	211002	二俣赤倉温泉線	2,140m	2,140m	4,280m		1,070m				
(2)	1	211003	田切新赤倉温泉線			m	30m	1,050m				
(3)	2	212005	東赤倉木場の沢線			m	60m	595m				
(4)	他	213036	東赤倉1号線			m		225m				
(5)	2	212001	毛祝坂二俣線	880m	880m	1,760m						
(6)	2	212003	田口北団地中央線	450m	450m	900m						
(7)	他	213069	田口16号線	470m	470m	940m						
(8)	他	213070	田口17号線	150m	150m	300m						
(9)	他	213072	田口19号線	250m	250m	500m						
(10)	1	211004	田口中央線	890m	890m	1,780m	210m	340m				
(11)	2	212004	田口名香山線				60m	175m				
(12)	2	212015	旧県道妙高温泉線				120m	250m				
(13)	1	211005	関川毛祝坂線				265m	635m		2箇所	2箇所	4箇所
(14)	2	212011	池の平温泉関所線				60m	1,050m				
(15)	他	213145	杉野沢14号線				30m	335m				
(16)	1	211009	苗名滝川街道線				30m	725m				
計				5,230m	5,230m	10,460m	865m	6,450m	m	2箇所	2箇所	4箇所

	計算数量	設計数量		計算数量	設計数量
実線 W=15cm（外側線・中央線）	11,325m	11,330m			
破線 W=15cm（中央線）	6,450m	6,450m			
ゼブラ W=45cm	m	m			
				計算数量	設計数量
区画線（矢印：直進+左折）		(15cm換算延長：8.84m／箇所)		17.7m2	
区画線（矢印：直進）		(15cm換算延長：6.25m／箇所)		12.5m2	
区画線（矢印：右折）		(15cm換算延長：6.66m／箇所)		26.6m2	
区画線（矢印：左折）		(15cm換算延長：6.66m／箇所)		0.0m2	
		合計		56.8m2	57m